

6月末をもちまして定年にて退団いたしましたチェロの伊藤哲次です。広響ファンの皆さま、長い間大変お世話になりました。88年入団以来広響の発展を目のあたりにしてきました。93年からはインスペクターを務めさせていただき多くの指揮者、ソリストをはじめゲスト首席の方や客演奏者の方々とも厚縁をえて素晴らしい音楽に触れることができました。

現在の広響は、世代交代が進み若い楽団員も増え、やる気と活気に満ちた雰囲気の中で日々建設的な演奏活動が展開されています。広響は伝統的に一生懸命にやるオーケストラ、真面目に取り組むオーケストラと言われてきましたが、来演されるほとんどの指揮者の方が異口同音にそのことを口にされます。指揮者と馴れ合っはいけないし、必要以上に師弟関係のようでもうまくいきません。絶妙な空気感を楽団員全員で創り上げています。

私が入団してから82名の方が広響を去っていかれました。定年や他のオーケストラへの移籍等理由はそれぞれですが、このことを疎かにしてはいけないと思います。4人の方が現役で亡くなっています。今の広響はこうした先人の努力とともに事務局スタッフ、後援して下さる皆さま、チケットを買って会場に足を運び応援して下さるファンの皆さまのお力添えで成り立っています。これからも変わらぬご支援をお願いいたします。

Bリーグのドラゴンフライズのワイルドカードからの初優勝は多くの感動を与えてくれました。交流戦を勝ち越したカーブは今シーズンも好調です。サンフレッチェも安定した力を発揮しています。同じく広島が本拠地である広島交響楽団、そう遠くない将来さらなる素晴らしい演奏を皆さまに届け、芸術的な最初のピークを迎えるであろうと確信しております。進化を遂げた広響の演奏を、今後新しく出来るであろう音楽専用のホールで聴くことが叶ったらどんなにか幸せだろうと思っております。

私の幼少期の思い出といえば、毎週末両親に連れられ兄の野球応援に行っていたことです。兄の活躍する姿を見て、私も何か頑張りたいと思うようになりました。

小学生の頃、金管バンド部で楽器を吹く友達の姿を見て、自分も楽器を吹きたい!と思い、中学では吹奏楽部への入部を決めました。初めは音色が大好きなオーボエ希望でしたが、ファゴットを勧められ吹いてみることに。すると、どの楽器よりもすんなりと音が出たことの嬉しさと、木管ならではの柔らかい音の心地良さを感しました。この時の感動は今でも覚えています。

オーケストラプレーヤーを目指すきっかけになったのは、中学2年の誕生日、姉が映画音楽のDVDをプレゼントしてくれたことです。大画面でオーケストラの演奏を観たのは初めてで、壮大な響きと迫りに圧倒されました。その時のファゴット奏者に憧れ、オーケストラで演奏したいという夢を持ちました。

高校でも吹奏楽部に所属。顧問の先生はオーケストラ・各楽器等のCDや音楽雑誌を多く貸し出してくださり、演奏する曲はクラシック音楽の選曲が多かったので、吹奏楽であっても弦楽器やオーケストラ全体を常にイメージし、音楽作りに励みました。

その後一般大学へ入学、卒業後は一般企業へ就職をしましたが、やはり中学の時に描いた夢が諦めきれず、オーケストラプレーヤーを目指すことに決めました。この間に楽器を問わずプロ・愛好家の素晴らしい方々に出会ったことも、気持ちを後押ししてくれたと思います。

音楽大学では、同じ志を持った素晴らしい仲間や温かくご指導くださる先生方に出会いました。ファゴットを通じて音楽を研究できることが本当に嬉しく、その気持ちは年々増えています。作品の中で好きな場面が少しずつ増えていることが今とても幸せです。

聴きにきてくださる皆さまに会場で素敵な時間を過ごしていただけるよう、アイデアに溢れた良い音楽作りを目指して日々精進いたします。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



チェロ奏者
伊藤 哲次



首席ファゴット奏者
門田 奈々

編集 後記

6月も終わり、2024年も半分が過ぎました。7月からはコンサートマスターに北田千尋が加わり、ますます充実のメンバーでお届けして参ります。この夏もお聴き頂きたい演奏会が目白押しです。広響の演奏会や最新情報は公式ホームページ、Facebook、X、Instagramをご覧ください。

公益社団法人 広島交響楽協会

広島交響楽団事務局

管弦楽等の音楽活動に関する事業を行い、広島市及び広島県の音楽文化の振興を図り、もって広島市民及び広島県民の平和と文化の発展向上に寄与することを目的としています。



TREND HIROKYO

公益社団法人 広島交響楽協会

〒730-0842 広島市中区舟入中町9-12 舟入信愛ビル2F
TEL 082-532-3080 FAX 082-532-3081 URL <http://hirokyo.or.jp> E-mail info@hirokyo.or.jp

クリスティアン・アルミンク
音楽監督就任!
(SECRETS ~音楽の不思議~)

音楽に込める平和への思い ~ Music for Peace ~

5月12日、広響平和音楽大使のマルタ・アルゲリッチを迎え、クリスティアン・アルミンク音楽監督の指揮で「広島交響楽団 特別定期演奏会」を開催しました。前半のウクライナ出身の作曲家アレクサンドル・ゴノボリンの「弦楽のためのアダージョ」に続いて、マーラーの交響曲第10番「アダージョ」を演奏。後半のプロコフィエフの「ピアノ協奏曲第3番」では、アルゲリッチの圧倒的なピアノとそれに応えた広響の演奏に、満席の会場はスタンディングオベーション、感動と熱狂に包まれました。広響がこれまで発信し続けてきた「Music for Peace~音楽で平和を」がまた一つ形となって目に見えた瞬間でした。

5/12 アルゲリッチとの
演奏動画配信中▶



広響にとって大切な演奏会の一つ、「平和の夕べ」コンサート。今年は8月6日の「原爆の日」にアルミンク音楽監督の指揮でマーラーの交響曲第2番「復活」を演奏します。「生と死」をテーマに描かれた約80分におよぶ大曲。大編成のオーケストラに加え、第4、第5楽章では世界で活躍するソプラノの並河寿美さんとメゾ・ソプラノの藤村実穂子さん

の独唱、そして東京オペラシンガーズの合唱も加わり壮大な音楽を響かせます。いまだ争いの絶えないいま、演奏を通して平和への祈りを捧げ、また平和を誓うひと時を会場のお客様と共有させていただきます。

8月7日~12日には、第2回ひろしま国際平和文化祭の一環として「第2回ひろしま国際指揮者コンクール」が開催されます。国内外から集まる予備審査で選ばれた出場者は、まず広島で音楽と平和について学び、お互いの交流を経てコンクールに挑むという他のコンクールにはない特色を持ちます。広響は8月12日の本選(ファイナルコンサート)で演奏を担当いたします。次世代を担う若き音楽家にも「Music for Peace」の心が伝わり、その種が世界に広がることを願ってやみません。

2024「平和の夕べ」コンサート

“死と再生、未来への翼”

指揮:クリスティアン・アルミンク
ソプラノ:並河寿美
メゾ・ソプラノ:藤村実穂子
合唱:東京オペラシンガーズ
[曲目] マーラー:交響曲第2番ハ短調「復活」

2024.8/6(火)
18:45開演(17:45開場)

[会場]広島文化学園HBGホール

チケット
販売中



クリスティアン・アルミンク



並河寿美



藤村実穂子

中期定期会員募集中! (受付期間2024年4月15日~9月3日)

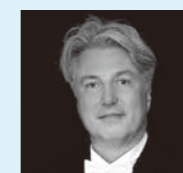
9月から11月までの定期演奏会全3回公演を、座席指定で約2割引の料金で鑑賞いただける中期定期会員を募集しております。

9/4(水) 18:45 第444回定期演奏会

10/11(金) 18:45 第445回定期演奏会

11/27(水) 18:45 第446回定期演奏会

料金(3回) S席 14,000円 A席 12,500円 B席 10,800円 お申し込みは広響事務局 ☎082-532-3080までお電話ください。



第444回定期演奏会
指揮:ヘンリク・シェーファー



第445回定期演奏会
指揮:準・メルクル



ヴァイオリン:ポール・ホアン



第446回定期演奏会
指揮:クリスティアン・アルミンク



ピアノ:ゲルハルト・オピッツ